

佐賀大学日本語・日本文化研修留学生 修了レポート

『タイ人学生の日本企業就職：準備、応募、  
内定後』

学籍番号：24957001

氏名：ジャイブン・ピアム

## 要旨

本報告書は、日本での就職を希望するタイ人学生向けの教育用ウェブページを作成することを目的とする。ウェブページの内容は、二つの調査結果に基づいて構成した。第一は「タイ人学生の日本での就職に関する関心調査」であり、日本での就職に対する関心や準備状況を把握した。第二は「タイ人の日本での就職経験に関する調査」であり、既に日本で働くタイ人から就職活動の経験や学生への助言を収集した。結果、日本就職への関心は高いが、応募書類作成、面接準備、日本語能力（少なくとも JLPT N2）に課題があることが明らかになった。これらの知見を踏まえ、『外国人留学生のための就活ガイド 2026』を主資料として、「準備」「応募」「内定後」の三章構成で情報を整理し、ウェブページとしてまとめた。

キーワード： タイ人学生、日本企業就職、就職活動、教育用ウェブページ

## Abstract

This report aims to create an educational webpage for Thai students seeking employment in Japan, based on two surveys: タイ人学生の日本での就職に関する関心調査 (a survey of Thai students' interest and preparation for working in Japan) and タイ人の日本での就職経験に関する調査 (a survey of Thai people already working in Japan about their job-hunting experiences and advice). The findings reveal that while interest in working in Japan is high, students face challenges in preparing application documents, interview skills, and attaining sufficient Japanese proficiency (at least JLPT N2). Using these insights and the Job-Hunting Guide for International Students 2026 (Japan Student Services Organization) as the main reference, the content was organized into three chapters—"Preparation," "Application," and "Post-Job Offer"—and compiled into an educational webpage.

Keywords: Thai students, employment in Japan, job-hunting, educational webpage

## 1. はじめに

近年、日本では外国人労働者の受け入れを拡大する政策が進められており、タイ人にとっても日本での就職機会が増加している。その一方で、日本に在留するタイ人労働者数は国籍別で第11位にとどまっている (Office of Labour Affairs, 2025)。また、日本語学習者数は世界第5位であり、日本語を学ぶタイ人は多いことが分かっている (Japan Foundation, 2023)。

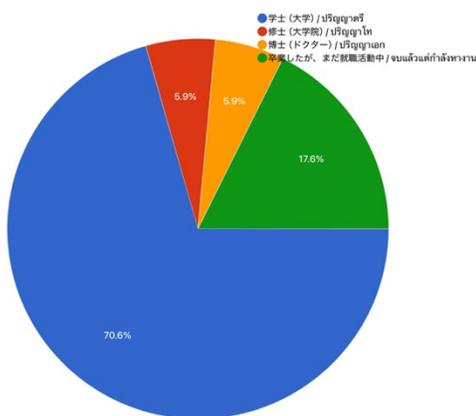
筆者自身、日本での就職活動の手順はタイとは大きく異なり、特にタイ語で体系的にまとめられた情報が少ないと感じている。そこで、本報告書では、日本での就職活動においてタイ人学生が理解しづらく、不安を感じやすい手順を中心に情報を整理し、ウェブページとしてまとめることを目的とする。

本報告書ではまず、日本での就職に関心を持つ在学中および卒業後就職活動中のタイ人学生への調査と、日本で就業しているタイ人へのインタビューを行い、ウェブページで扱うべき項目を検討する。次に、『外国人留学生のための就活ガイド 2026』（独立行政法人日本学生支援機構）を主な資料として内容を整理する。その後、整理した情報をもとにウェブページを作成し、最終的に利用者による満足度調査を通して評価を行う。

## 2. タイ人学生の日本での就職に関する関心調査

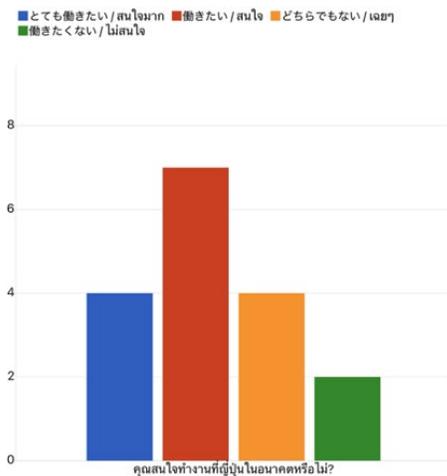
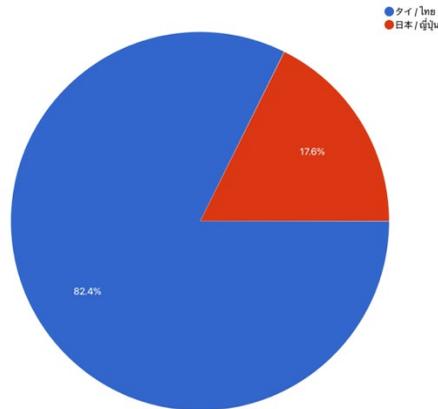
本報告書では、日本での就職に関心を持つタイ人学生を対象に、学年や希望就労期間、準備状況、希望職種などに関するアンケート調査を実施した。本節ではその結果を整理し、分析を行う。

### 2.1 回答者の属性



回答者は大学2年から博士課程まで幅広く分布しており、大学5年1名、大学4年4名、大学3年3名、大学2年2名、大学院2年1名、博士1年1名であった。このことから、日本での就職活動に対する関心は、低学年の段階から存在していることが分かる。

また、所属大学については、82.4%がタイの大学、17.6%が日本の大学に在籍していた。



## 2.2 日本での就職希望

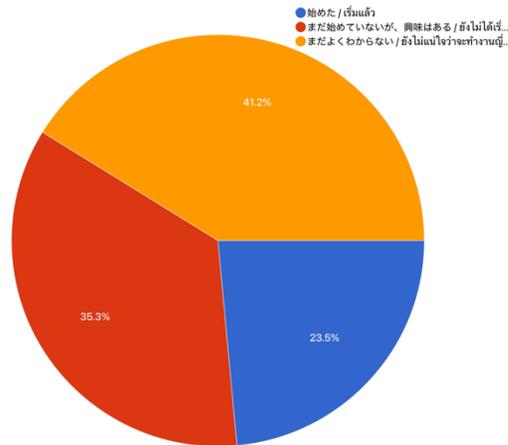
多くの学生が日本での就職を希望していたが、その希望就労期間は5年以下が大多数を占め、10年と回答したのは1名のみであった。したがって、長期的な定住やキャリア形成というよりは、短期から中期的な就労経験やスキルの獲得を目的としている傾向がうかがえる。



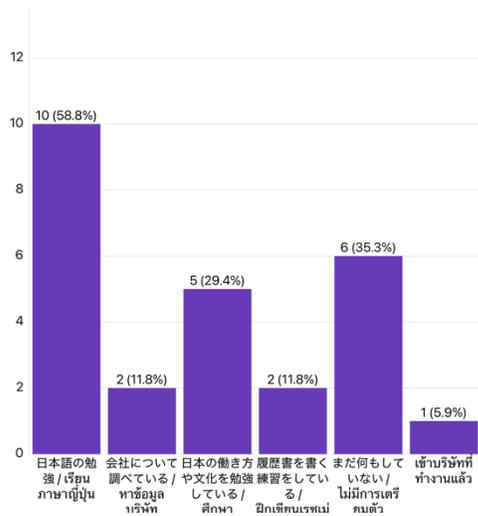
### 2.3 日本で働きたい理由

自由回答および複数回答形式により理由を尋ねた結果、文化への関心、語学力向上、専門分野での経験獲得などが挙げられたと考えられる。特に日本語能力の向上と異文化経験が動機として強い可能性がある。

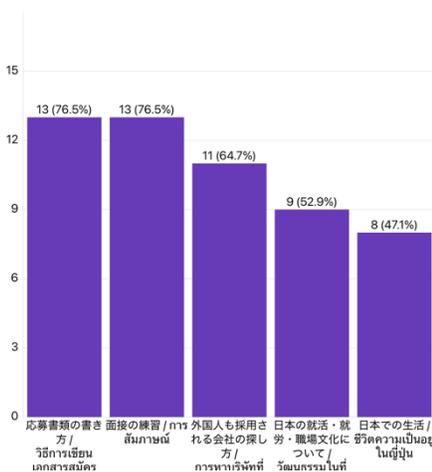
### 2.4 準備状況



就職活動の準備状況については、「まだ始めているが興味はある」と回答した学生が 35.3%、「まだよくわからない」と回答した学生が 41.2%と、多くの学生が準備を始めていないことが明らかになった。



すでに準備を始めている学生 (23.5%) の中で、最も多い 58.8%が「日本語の勉強」を挙げている。しかし、「会社について調べる」や「履歴書を書く練習」をしている学生は 11.8%にとどまっている



## 2.5 難しさ・不安点

学生が困難に感じている点として、最も多く挙げられたのは「応募書類の書き方」と「面接の練習・仕方」で、いずれも 76.5%であった。また、「外国人を採用してくれる会社の探し方」も 64.7%の学生が困難だと感じている。

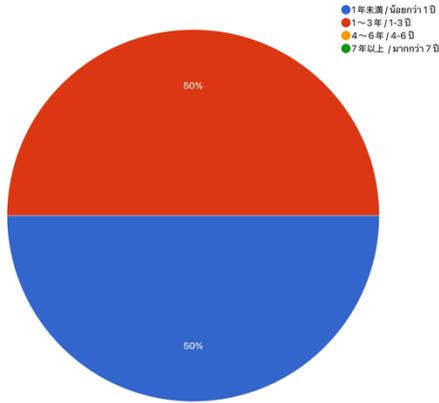
## 2.6 希望職種・業界

希望する職種・業界は多岐にわたり、介護 (1名)、観光 (2名)、デザイン (1名)、航空業界 (1名)、サービス業 (1名)、食品産業 (1名)、製造業 (1名)、翻訳・通訳 (2名)、タイ語教師 (1名)、メディア (3名)、IT (1名)、労働 (1名)、工学関連 (1名) であった。

特にメディア分野 (3名)、観光および翻訳・通訳 (各 2名) が比較的人気を集めている。一方、日本国内で需要の高い介護や IT も選択肢に含まれており、多様な志向性が確認できる。

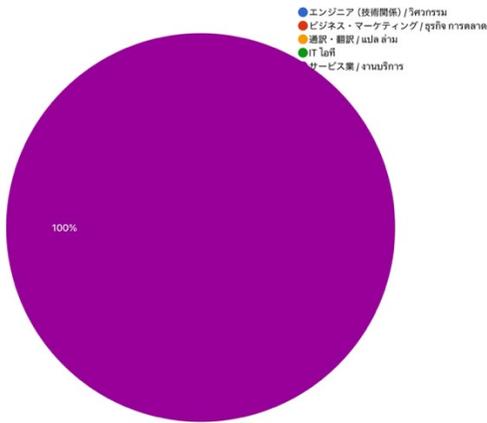
### 3. タイ人の日本での就職経験に関する調査

本節では、日本での就職経験を有するタイ人3名（面接調査1名、オンライン調査2名）への聞き取り及びアンケート調査の結果を示し、分析を行う。



#### 3.1 勤務年数

オンライン調査の結果、勤務年数は「1年未満」が1名、「1~3年」が1名であった。面接調査の対象者も「1年未満」であり、比較的短期間の就業経験が中心であった。

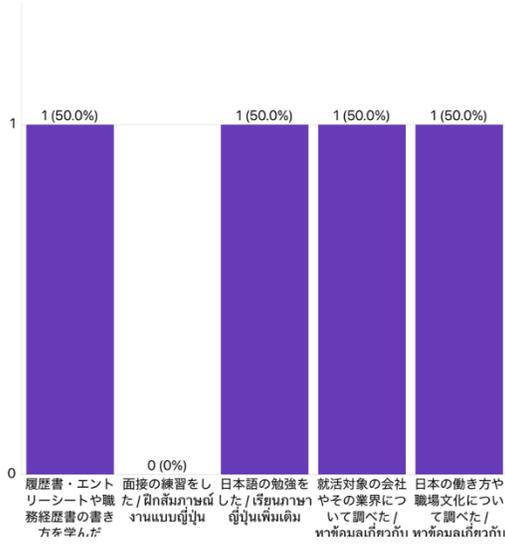


#### 3.2 職種

全員がサービス業に従事していた。

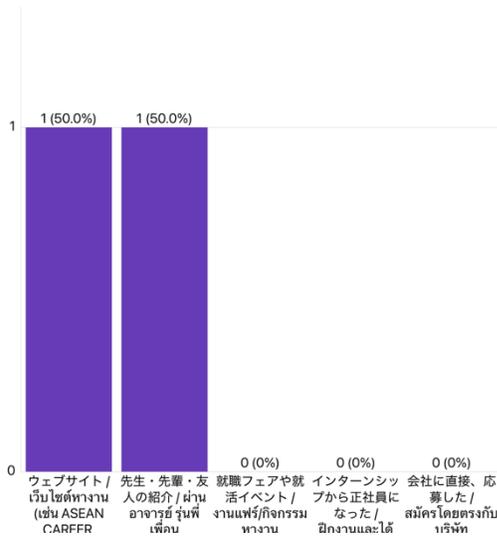
### 3.3 求職方法

面接調査の対象者は、就職情報の入手元としてウェブサイトを利用していった。オンライン調査の対象者は、ウェブサイトと知人からの紹介の両方を利用していったが、全体としてはウェブサイトの利用が中心であった。



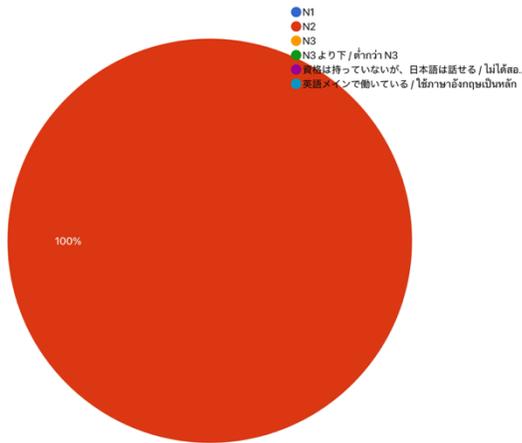
### 3.4 応募前の準備

面接調査対象者は、特定技能試験の受験および日本語学習を行っていた。これにより、技能資格と語学力の双方が就職準備において重要であることが示される。



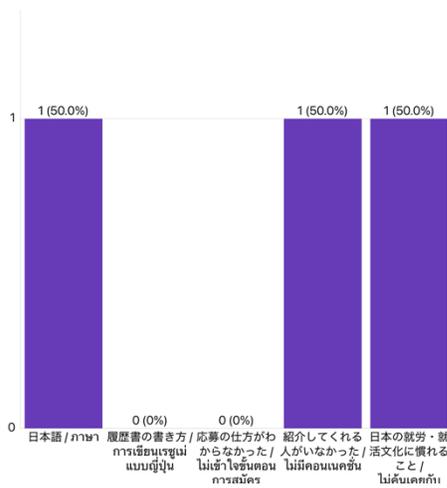
### 3.5 日本語能力

全員が就職活動時に日本語能力試験（JLPT）N2 レベルを保持していた。これは一定の業務遂行に必要な日本語能力を有していたことを示している。



### 3.6 就職活動における困難

就職活動で大変だったこととして、「日本語/言語」、「紹介してくれる人がいなかった」、「日本の就労・就活文化に慣れること」が挙げられた。これは、言語の壁だけでなく、コネクションの不足や文化的な違いが大きな障壁となっていることを示している。もしもう一度就職活動をするなら、より「面接の準備」と「日本語」を徹底的に準備したいという意見も出た。



### 3.7 改善点

「面接の準備」や「日本語力の強化」が挙げられており、より高い言語運用能力と選考対策の重要性が認識されている。

### 3.8 今後のアドバイス

これから日本で働こうとするタイ人学生に向けて、「履歴書の書き方」など、具体的な応募書類の作成方法に関するアドバイスが寄せられた。このことから、実践的な情報提供が求められていることがうかがえる。

## 結論

本調査から、タイ人学生は日本就職への関心が高い一方で、就活準備の不足と語学力向上の必要性が明らかとなった。実際の就業経験者の事例からも、日本語能力（少なくとも N2 レベル）、応募書類作成スキル、面接対応力が成功の重要要因であることが裏付けられる。したがって、早期からの情報提供と実践的な就活スキルの習得支援が不可欠である。

## 4. 調査結果に基づくコンテンツの構成

以上の調査結果を踏まえ、タイ人学生が日本での就職活動で直面するであろう具体的な課題に焦点を当て、以下の構成でウェブページを作成することが有効であると結論づけた。コンテンツは、『外国人留学生のための就活ガイド 2026』（独立行政法人日本学生支援機構）を主な資料として整理する。

### 第1章 準備

1. **日本語能力試験の合格レベル：** 就職活動における日本語の重要性を踏まえ、目標とすべき日本語能力試験のレベル（N2 程度）を明確に提示する。
2. **就職活動のスケジュール：** 日本特有の就職活動の流れについて、タイ人学生が理解しやすいよう、時期ごとの活動内容を体系的に解説する。
3. **自己分析：** 応募書類の作成や面接対策の土台となる自己分析の方法について、具体的な手法やポイントを提示する。

### 第2章 応募

1. **就活外国人のためのウェブサイト：** 外国人留学生向けの求人サイトや情報源を紹介し、就職先の探し方を具体的に示す。
2. **応募書類：** 学生が最も困難に感じている「履歴書」や「エントリーシート」の書き方について、具体的な記入例や注意点を詳しく解説する。
3. **面接：** 「面接の仕方」に対する不安を解消するため、面接の仕方や効果的な回答方法などを解説する。

### 第3章 内定後

内定後の手続きはタイの就職活動と大きく異なるため、日本で働くために必要な具体的な手続きについて分かりやすく説明する。